

2021年3月25日

国立大学法人東京医科歯科大学
学長 田中 雄二郎 殿

医学部附属病院監査委員会

2020年度第2回医学部附属病院監査委員会の結果報告について

国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院監査委員会規則に基づき、下記のとおり監査を実施しましたので報告いたします。

1. 監査の時期

2021年2月3日（水）

2. 監査の方法

医学部附属病院の安全管理体制等について、医学部附属病院管理者、医療安全管理責任者、医療安全管理部長、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者へのヒアリングを行った。

3. 監査対象期間

2020年4月1日 ～ 2020年9月30日

4. 監査内容

- ① 前回の監査委員会の監査結果とその後の進捗について以下の確認を行った。
 - ・中心静脈穿刺の院内ライセンス制度の導入については、現在、実技試験は新型コロナウイルスの影響で実施できていないが、テンプレートの作成など運用の準備は進んでいる。
 - ・IC ノートを用いたカルテ記載件数は増加しているが、診療科によって使用に偏りがあり、使用の少ない診療科の使用を促す取り組みが今後の課題である。また、記載項目に漏れがないようチェックリストを作成した。

- ② 監査対象期間における医療安全管理業務に係る活動報告および管理体制の確認を行った。
- ③ 事例1（循環器内科における事例）について、概要とその後の院内での検討結果および対応について説明を受けた。また、事例2（COVID-19に関する情報共有のあり方）について概要の説明を受けるとともに質疑を行った。

6. 監査結果

- ① 前回の監査委員会の監査結果のその後の進捗については良好に進んでいる。
- ③ - ①事例1（循環器内科における事例）については、複数の診療科への横断的なヒアリングや過去についての振り返りの検討を行った良い例である。
- ③ - ②事例2（COVID-19に関する情報共有のあり方）については、その後作成した掲示物の内容も適切であり、安全性の向上や患者の安心につながる良い取り組みである。

以上